

美濃口 春鴻(みのぐち しゅんこう)

資 料

短冊『長啼や 根水もちたる 草のむし 春鴻』

作 者

1733(享保18)－1803(享和3). 6. 7

相模国(神奈川県)鎌倉郡下飯田(横浜市)生まれ。

白井鳥酔・松露庵烏明・杉坂百明に俳諧を学んだ後、加舎白雄の門人となる。白雄の八大弟子の一人で、相模俳壇と白雄没後の春秋庵を後見し、鳥酔の露柱庵を継ぎ露柱庵4世となる。倉田葛三や遠藤雉啄が弟子にいる。

参考文献

『露柱庵春鴻句集』(石井光太郎／編・刊 1959

[飯田九一文庫])

